

支援学校からの一般就労 vol.1



雇用した事業所 **株式会社吉田喜九州**

就職した人 **すぎもと ちほ**
杉本千穂さん
(出身校: 大分県立由布支援学校)



左から: 主幹教諭・秦 久美子さん
進路指導主任・末永 昭久さん
校長・渡邊 英之さん
教頭・藤澤 一郎さん
事務長・阿部美奈子さん



特別支援学校 vol.1

大分県立由布支援学校

—生徒一人ひとりに真っ直ぐに 共に未来へ—



大分県由布市にある大分県立由布支援学校は、知的障がいや重複障がい(知的障がい、肢体不自由、病弱)のある生徒たちが学ぶ特別支援学校です。小学部から高等部までの児童や生徒が学習し、現在は小学部29名、中学部13名、高等部20名の62名の生徒たちが通っています。

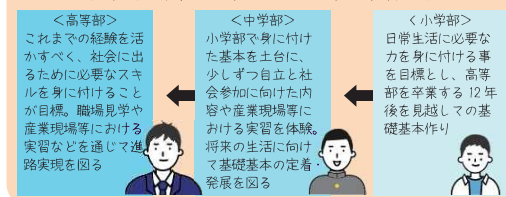
生徒たちの自立や将来的な社会参加を目標とし、小中高一貫した教育活動を行いながら「なりたいたい自分になる」をスローガンに掲げたキャリア教育を推進し、同時に安全安心な学校づくりをめざしています。「本校は生徒の就労が最終目的ではなく、生徒一人ひとりに応じたキャリア計画を組み、卒業後にしっかりと社会参加できるよう生徒と向き合っています」(校長・渡邊英之さん)

生徒一人ひとりに応じた学習内容を提供するため、それぞれの特性に合わせた教材を教師たちが作成し、徹底したカリキュラム・マネジメントを推進しています。また就労に向けた取組として教育課程に位置付けられた指導の形態の一つ「作業学習」では、社会生活や自立に向けて必要な知識や技能などを総合的に学びます。

また高等部における進路指導では生徒を尊重し、本人の希望と職種を慎重にマッチング。それを踏まえ職場見学や産業現

場等における実習を積極的に行っています。「本校では中学部から産業現場等における実習を3日間行い、社会勉強の場を持ちますが、高等部となると更に現実味を帯び3年間述べ45日間以上の実習を行います。本人の気持ちと今後の生活、またご家族の考えも含め進路を決めていくことが大切になってきます。卒業後、就労することがゴールではなく、その先の長い人生でステップアップしていく生

<各学部段階における進路指導の学習内容>



作業学習内容



小学部・産業・木工・農業
高等部・情報デザイン(名刺・一筆箋作り)クラフトワーク(紙工、袋折り)
環境サービス(校内メンテナンス、J.R小野原駅の花壇整備、ごみ拾い)

徒たちの初めての就労場所が、そのスタート地点として適しているかどうか、無理なく出発できる場所なのかを深く話し合う事を大切にしています。(進路指導主任・末永昭久さん)

由布支援学校では、卒業後基本的には3年間追支援として生徒の就労先を定期的に訪問。関係機関と連携してサポートすることで早期離職の問題も防げると言います。その甲斐あって、現時点で直近の過去3年間の離職者はゼロ。在学中から築き上げた信頼関係が、その先にも繋がりがり生徒たちの人生を支えています。

■一般就労へのチャレンジ

「今は毎日がとても楽しいです。」
そう話すのは大分県立由布支援学校を卒業後、就職した杉本千穂さん。今年から株式会社吉田喜九州で働いています。一般の社員と同じ、朝8時半から17時半までのフルタイム勤務、1日2万5千生産される看板商品の巻き寿司の具となる「巻き芯」の製造に携わっています。

支援学校在学中は、卒業後に福祉就労施設に通うことを考えていた杉本さんですが、先生たちの勧めから一般就労を決定。最初は不安でしたが、当時は振り返りません。「先生がとても親身になって相談に乗ってくれたので一般就労の道を決める事ができました。職場実習には2回行かせてもらいましたが、最初はとても緊張しましたね。」色々な葛藤はありながらも、実習を重ね会社の雰囲気にも慣れ無事就職。今は会社の人たちと充実した毎日を過ごし、念願のひとり暮らしもスタート。職場の皆さんや支援学校の先生、関係機関の方々をサポートを受けながら杉本さんは今、しっかりと自立し社会人としての道を歩んでいます。

■受け入れる企業の想い

(株)吉田喜九州にとって杉本さんは初めての障がい者雇用。支援学校から職場実習を依頼された事が縁となり今回の雇用へと繋がりました。管理部課長の東藤有紀さんは、「杉本さんは2度実習に来てくれましたし、その裏面も働きぶりも分かった。ただ全く知らない人だと、やっぱり少し不安はあったかと思いますが、障がい者を雇用するという事は企業にとっても大きな挑戦ですが、雇用後も支援学校の先生が何度も訪問してくれた事も心強かったと言います。「杉本さんの入社をきっかけに、私たちもいい意味で変わったと思います。相手にも気を配ることが、普段の生活で何気なくしていたことも意識するようになりました。」

障がい者雇用は企業にとって大きな気づきにも繋がります。障がいの有無に関わらず、誰もが明るく安心して働ける環境づくりが今、求められているのではないのでしょうか。



管理部課長の東藤さんと入社当時の思い出談笑



毎日が楽しいと笑顔で働く杉本さん



QRコードは指紋認証でウェブの登録画面へ

<http://yoshidaki-ks.co.jp/>

株式会社吉田喜九州 〒879-5515 由布市挾間町三船64番地 ☎097-583-5221

〒879-5406 由布市庄内町西長宝1796番地 ☎097-582-0326 <http://shien.oita-ed.jp/yufu/>